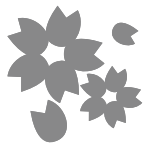


富士河口湖町女性交流センター

みずうみ通信



「私の青春、そして今」

船津 蔵所 禮



例えば、あれから半生紀以上が過ぎた。振り返ってみると、長い様な短い様な私の青春。それは昭和二十年八月の大空

襲から始まる。当時私は、医学生で学寮生活をしていた。突然の空襲で、取る物も取り敢えず近くの甲突川に飛び込んだ。頭を時々上げると、武之橋から火だるまになって川に落ちる人、背中の荷物に火がついて川に飛び込む人、逃げ惑う人々の光景はまるで地獄を見ている様だった。

はっと我に返って家へ急ぐ中、今度は百貨店の地下から焼け出された人々が瀕死の状態で助けを求めている。「水…水」と言いながらバタバタと死んで行く人達の救護をしながら家路に着くと、家も焼けて誰も居ない。父の書き置きを見つけてやっと安堵した。あの当時の事は、脳裏に焼きつき今も忘れはしない。

それから月日が経ち、ようやく学校が再開された。同じ道を志した級友との再会、九州大

講師の授業、毎日の食料の買い出し、私の一生で一番濃密な内容をはらんだ時代だった。

焼け野原だった市内もやっと活気を取り戻し終戦の残骸を残しながらも人々の顔に笑顔が見られる様になったある冬の夜、一本の電話でまた生活が変わった。

サイパン島からの引き上げ孤児の救済の要請だった。トラックで移動、市内の小学校の校舎を借りて孤児達を待った。栄養失調と全身湿疹の四、五歳の子供達をドラム缶の風呂に入れ、軍隊毛布に包み湯たんぽ代わりの水筒で暖め一緒に寝ながら、夜中にローソクの明りで見回った。配給物資の食事、カロリー計算、傷の手当て。一日も早く元気になってくれる様に努めたが、次々に冷たく死んでいく。私が担当した十人の子供の内、一人の男の子が口も聞かず心を閉ざし、いつも右手を強く握りしめていた。夜中にそっと毛布をめくるとその子も冷たくなっていた。その右手を開くと髪の毛を握りしめていたのだ。戦略した兵士に目の前で母親が殺されたと聞いた。朝早くミカン箱に入れ骨壺を作りリアカーに乗せ高い丘の火葬場に泣きながら運んだ。やがて煙突から小さな煙が出ると急いで骨を拾って山から降りる、そんな事が幾度続いたことだろう。あの時の事も深く心に焼き付いている。

二月の寒い日には、子供達のおねじした毛布を川で洗った。傷も癒えて元気になった子供達を、県が用意したトラック建ての孤児院に移す日がやってきた。私も卒業を目前にしていたが、子供達と生活することに決めた。寮長を子供達の父として私は母親となることに専念した。戦争の犠牲になった子供達にそれが当然の事のように思えたのだ。

子供達もやがて小学校に入学し親類に引き取られ私の手から離れて行った。

時代とは云え余りにも過酷な現実と直面して、私の人生観の根源はそこから生まれた様な気がする。一日も早く沢山の知識や技術を身につけたい。もっと勉強したい。そんな気持ちで募り、保健婦の資格を取ると直ぐ労働基準局の衛生管理の国家資格を取り、神戸の劉外科に入り看護婦の資格と栄養士の免状を得て治療医学の道を選択した。それが私に与えられた使命だと思った。

あれから五十年余、テレビで当時のハンセン病患者の主張を聞いて複雑な思いだった。当時、家の屋根裏に閉じ込められた人々を説得して隔離に奔走した頃を思い、時代の変動を痛切に感じた。

同期生の一人は長島愛生園に残り患者の治療に一生を捧げた。また一人は、赤羽台にある扶助者聖母会にサレジアンシスターズとして今も尚、神にお祈りの一生を捧げている。

走り続けた私の青春を短い文章に表現することは難しい。ただ、現在独り生活の中で折にふれ思い出す事で、ともすると時代に流され様とする自分を戒めているのだと思う。こうした経験を踏んだお陰で、神戸震災では家の下敷きから這い出して生きてこられた。あの光景はさながら六十年前の焼け跡と同じ様だった。着の身着のまま僅かな荷物を積んで十時間かけて河口湖に辿り着いた。私の頭の中は戦後の頃にタイムスリップしていたかのようだった。

「生きる」と言うことに勇気と根性を貰った私。豊かな自然と人情に溢れたこの街を安住の地として残された人生を大切に生きよう。

生涯学習に励む事の喜びに感謝しながら、「生きる」と言う事の大切さを身をもって体験した私の青春時代に心から、乾杯！

町の文化財紹介

いにしえ こ みち

富士河口湖古の小径

中道往還

精進の一面・阿難坂(女坂)について

精進地区の居村集落の裏の山は御坂山地の一部ですが、甲府市古閑町や甲府盆地方面に行くためには、この山を登り越して行かなければなりません。この山を越える際に經由する峠の通称は阿難坂ですが、近年では女坂といわれることのほうが多いです。この女坂という名称は、昔一人の高貴な人に仕える身分の高い女性が阿難坂を登り始め、身重であったこと、馴れない急坂であったこともあり難儀していました。坂上から下りて来た人に道程を尋ねると「まだ半分しか登っていません」と言われ、女性は力尽きて、その場で崩折れ、急に産気付いて一児を分娩すると、母子ともに息絶えてしまいました。村人は哀れに思い、そこに母子を埋葬して、その上に子を抱いた石地蔵を建てました。この地蔵を女石とよび、その後この峠道が女坂とよばれるようになったと伝えられています。この道こそが中道往還として古来静岡県(田子の浦と甲府を最短距離で結ぶ重要な幹線道路として機能してきました。コースは、田子の浦―富士宮―根原―本栖―精進―阿難坂(女坂)―古閑―右左口―甲府と各地域をたどります。戦国時代に武田信玄、織田信長、徳川家康などの武將が兵を率いて往来していたときから、右左口や精進の人々が田子の浦から来る魚や塩などの海産物を甲府へ運んだことから、中道往還は別に「魚の道」とも呼ばれ、今に伝わる道でしたが、明治三十六年(一九〇三)に中央線、昭和三年(一九二八)に身延線の鉄道の開通により「魚の道」、中道往還及び阿難坂(女坂)は歴史的な使命を終え、その後の交通の発達で新道がつくられ、地図から姿を消した道も多いです。し

かし、その道筋は現在の静岡県富士市、富士宮市から精進地区に至るまで、国道一三九号を幹線として旧道(旧中道往還)が分離附随しながら山梨県内に入り、精進湖の北側から甲府・精進湖線(現・国道三五八号)として甲府までの交通を容易にしています。そして山梨、静岡両県の経済、文化、交流の動脈として、また富士五湖めぐりの観光ルートの一部として脈々と歴史を刻んでいます。

精進地区の中道往還沿いの歴史と文化財

○ 精進地区の概観

江戸時代は山村の宿場。耕地が少なく、米や麦類は外から購入。海産物の荷駄賃稼ぎや下駄、天秤棒、鍬の柄、角箸などの細工物で生計をたてる。

○ 諏訪神社と龍泉寺

諏訪神社境内には目通り幹囲一〇メートル、高さ三八メートルの国指定天然記念物「精進の大スギ」があり、隣接する龍泉寺は、江戸時代の明暦年間(今から二百六十年前)の火災で焼失したものの、直後に復元されて昔の姿を残す。

○ 居村集落

かつての宿場跡。昭和四十一年(一九六六)、台風二六号による集中豪雨により精進川が氾濫し、大きな被害を受け、裏山の崩壊を恐れて対岸の青木ヶ原に集団移住。現在の集落二〇戸前後。



○ 石造物

阿難坂(女坂)の登り口左手に念仏塔、庚申塔、馬頭観音が置かれる。



○ 阿難坂(女坂)

途中に馬の休憩場跡が残り、大岩の上に石仏がある。



○ 頂上(阿難坂(女坂)の頂上)

阿難坂(女坂)の里程標、約一メートル四方の石積みが残る。句碑、供養塔四基、石祠、地蔵が置かれる。「左へ一・五キロ三分山、右へ三キロ五湖山、精進湖へ三キロ」などの表示をもつ看板が設置されている。景色がよく、特に精進湖や青木ヶ原樹海などの眺望に優れている。江戸時代の俳諧、山口素堂の「生魚の二十里走る 不如帰」という句碑もあり、「魚の道」の往時がしのばれる。



このように中道往還沿いの精進地区には昔の様子を物語る文化財や素晴らしい景色がみられますので、ぜひ一度歩いてみてはいかがでしょうか。



募集

第28回富士河口湖町住民ゴルフ会参加者募集

定員に若干の余裕があります。参加をお待ちしています。

■日時 4月12日(月)

■場所 河口湖カントリークラブ

■対象者 町内在住者

■問合せ先 役場2階総務課船津財産区事務局

Tel 72・11112

第12回「河口湖ろうそく能」

日本の伝統芸能を担っている若手能楽師たちが、伝統文化の普及という趣旨で専門の話と能・狂言を演じていただいています。是非、この機会に日本の伝統芸能を味わってみませんか。

■日時 5月14日(金)午後5時30分開演

■場所 常在寺本堂(小立)

■入場料 5000円

■内容 第一部 講和「音の効果」曾和尚靖師

第二部 仕舞「羽衣」 角当行雄

狂言「寝音曲」 山本則秀他

能「鉢木」 角当直隆他

■問合せ先 Tel 73・2264 渡辺美知子

Tel 72・0117 井出義美

子育てサークル「ひだまり」からのお知らせ

「ひだまり」は障害を持つ子ども、ちょっと気になる子どもとその保護者が安心して集える子育てサークルです。

「何か子どもの育ちが気になる」、「子どもの行動に困ってしまう時がある」など、専門家に相談する前にちょっと誰かに聞いてみたいと感じている保護者や、様々な障害を持った子どもを育てている保護者が一緒に、たまにはゆったりと、気持ちを開放しあう時間を作っているサークルです。誰にも言えず悩んでいる方、あなたは一人でありません。ぜひ足を運んでください。

※同時にサポートボランティア募集中!

■日時 4月10日(土)第1回

(毎月第2土曜日に開催予定です。)

■時間 10時から正午

■場所 中央公民館和室

■年会費 1000円/年(材料費など)

■参加費 会員 各回の参加費なし

非会員 200円/1回

■問合せ先 Tel 090・5443・5485 渡辺

メール hidamarin@nint1.sakura.ne.jp 堀内

ホームページ <http://hidamarin2003.sblo.jp/>

「第14回わんぱく相撲富士五湖場所」

参加者募集

■募集対象 富士五湖地域の小学1～6年生

■開催日 4月24日(日) 受付 午前8時から

競技開始 午前9時15分から

■場所 忍野村民体育館、国体記念土俵

■参加料 1人500円(保険・参加記念品込)

■申込方法 各小学校へ配布した申込用紙を

FAX送信又はホームページ内からの申込

■締切 4月20日(日)

■問合せ先 大会運営担当 小野 Tel 24・0771

URL <http://www.pr@fujigokyo.or.jp>

マナー教室・礼儀作法入門講座

美しい立ち居振る舞いから、訪問、接客、冠婚葬祭のマナーなど礼儀作法を身につける講座です。

■日時 4月24日(土)午後1時30分から

11月まで第4土曜日 全8回

■場所 中央公民館 和室

■費用 1000円(資料代として)

■申込・問合せ先 現代礼作法法盧田會 小俣一巴

Tel 055・265・3779

「弦歌弓舞2010」前田登 二胡コンサート

郡内を中心に二胡教室の講師として活動している前田登氏の二胡コンサートが行われます。中

国の伝統曲を中心に、日本の歌やクラシックなど多数演奏し、合奏の部では、河口湖教室の生徒さんにも出演します。是非お越し下さい!

■日時 4月25日(日)午後2時開演

■会場 勝山ふれあいセンターさくやホール

■入場料 無料

■主催・問合せ先 山梨二胡の会

Tel 0555・24・5421 前田登

チリ大地震救援金の受付について

日本赤十字社では、2月27日に南米のチリで発生した地震による被災者への救援金を募集します。

■募集期間 4月30日(金)まで

■受入窓口

○持参 日本赤十字社山梨支部

甲府市池田1-6-1

○郵便局

口座番号「00480037777」

口座名義 日本赤十字社山梨県支部

○山梨中央銀行

普通口座「下飯田支店80179」

口座名義 日本赤十字社山梨県支部

○甲府信用金庫

普通口座「本店0448543」

口座名義 日本赤十字社山梨県支部

※専用振込用紙を使用してください。

※振込みの場合は、通信欄又は備考欄に「チリ大地震」と明記して下さい。

■問合せ先 日本赤十字社山梨県支部総務課

振興担当 Tel 055・251・6711

富士吉田共同高等職業訓練校

Ⅱ前期技能検定(建築板金・塗装・左官他)Ⅱ

■受付 4月5日(月)～16日(金)平日のみ

午前10時～午後3時

■検定料 学科3100円、実技16500円

■試験日 各検定科目によって異なります。



●問合先 富士吉田職業訓練協会

Tel 22・5214

都留高等技術専門学校【訓練生募集】短期課程

■家屋営繕科■

■訓練期間 6月～11月(6ヶ月)

■訓練内容 木工用機械器具によって、木造建築物の簡単な営繕・リフォームができる技術・技能の習得

■応募資格 公共職業安定所の求職申込者

■受講費用 無料(災害保険料等は自己負担)

【在職者訓練】

■人の扱い方TWI・JRI■

■日時 6月10日から5日間午後6時～9時

■受講料 1000円 ■定員 10名

■内容 人と人との関係を円滑にして部下に協力してもらう技術を習得します。

■ワード基礎■

■日時 6月14日から6日間午後6時～9時

■受講料 2100円 ■定員 20名

■シーケンス制御の実験■

■日時 6月18日から8日間午後6時～9時

■受講料 2100円 ■定員 10名

■内容 リレーシーケンス(有接点実技編)

●問合先 都留高等技術専門学校

Tel 0554・43・8911

FAX 0554・43・8912

県立産業技術短期大学校【在職者訓練】

5月の在職者訓練のおしらせ

■C#入門■

■5月12日から3日間、午前9時～午後4時

■受講料 4800円

■ワード(基礎)講座■

■5月10日から6日間、午後6時～9時

■受講料 2100円

■ワード(応用)講座■

■5月20日から6日間、午後6時～9時、

■受講料 2100円

■接遇・対応のための中国語■

■5月11日から9日間、午後7時～9時、

■受講料 2100円

●いずれの申込みも、規定の用紙に記入し、申し込んで下さい。

●申込・問合先 県立産業技術短期大学校

Tel 0553・32・5202

FAX 0553・32・5203

初夏の寄せ植え教室

涼しげで初夏から秋口まで楽しめるブルーサルビア等の寄せ植え教室を開催します。

■開催日 5月9日(日)午前9時～11時30分

■場所 大月市民会館3階 講堂

■定員 40名(定員なり次第締切)

■費用 2000円(材料代として)

■申込 4月9日から受付

●申込・問合先 山梨県緑化センター

Tel 055・276・2020

母子家庭等就業・

自立支援センターからのお知らせ

母子家庭のお母さんや寡婦の方を対象に講座を開催します。託児サービス(就学前)があります。

■パソコン教室■

■日時 5月15、16日 午前10時～午後4時

5月22、23日 午前10時～午後4時

■受講料 無料 ■定員 各10名

■ホームヘルパー講座(2級課程)■

■日時 6月から10月 原則毎週土曜日

■受講料 午前9時30分～午後4時15分

■申込 7000円 ■定員 30名

■申込 申込書を郵送又はFAXで申込むか

ホームページからの申込みができます。

http://www16.ocn.ne.jp/~bokaren/

●問合先 母子家庭等就業・自立支援センター

甲府市朝日4・5・21

県母子寡婦福祉センター内

Tel 055・252・7014

「法テラスの日」無料相談会

法テラスは、全国どこでも気軽に法的サービスを受けられる社会を目指し、平成18年4月10日に設立され、4月10日を「法テラスの日」としています。法テラス山梨では、これを記念して、無料法律相談会を開催します。日頃の困りごとなど気軽に相談下さい。

■相談日時 4月8日(木)午後1時～4時

■相談場所 法テラス山梨事務所

(甲府市中央1-12-37 一RIXビル)

■相談方法 弁護士又は司法書士による 法律相談(1件30分)

■申込み 予約制(電話による事前予約)

■定員 45名

■予約受付 Tel 050・3383・5411

小学生・高校生のための夏休み海外派遣

■内容 ホームステイボラ

ンティア・文化交流

・学校体験・英語研

修・地域見学・野外

活動など

■派遣先 米国・英国・豪州・カ

ナダ・シンガポール

・サイパン・カンボジア・フィジー

■日程 7月23日～8月15日(8・19日間)

■対象 小学3年生から高校3年まで

■参加費 19・52万円(別途共通経費)

■締切り 6月4日、14日(各事業により異なる)

●問合先 国際青少年研修協会(東京都港区)

Tel 03・6459・4661

URL http://www.kskk.or.jp





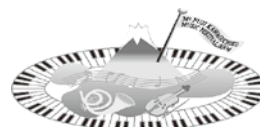
The Kawaguchiko Stellar Theater. The April issue. STELLAR THEATER NEWS

河口湖ステラシアター通信4月号

♪決定!! 富士山河口湖音楽祭2010 8月14日 (土)～21日 (土)♪

富士山河口湖音楽祭が今年も決定いたしました!!今年で9回目を迎える、恒例となったこの音楽祭。今年もフィナーレを飾るのは、「佐渡 裕 指揮 シエナウインドオーケストラコンサート」。その他にも、様々なプログラムをご用意しています。詳しくは次号でご紹介!!

5月29日午前10時～チケット一斉発売!!



佐渡 裕 指揮 シエナ・ウインド・オーケストラコンサート

日時:8月21日(土)

午後1時45分開場、午後5時開演

プレ演奏会)午後2時30分開演予定「歌の祭典」

午後4時開演予定「フレッシュコンサート」

会場:河口湖ステラシアター

	一般料金	会員料金
指定席	4,500円	4,000円
自由席一般	3,000円	2,700円
自由席高校生以下	1,500円	1,300円

※10名様以上でお申込みの場合、団体割引があります。

河口湖ステラシアターサポーターズクラブ募集♪

一緒に河口湖ステラシアターを盛り上げましょう!!

《サポーターズクラブ》とは??

河口湖ステラシアターや河口湖円形ホールで行われるコンサートの時に、運営スタッフとしてお手伝いいただいているボランティア団体です。主に土日のイベントの際、お手伝いいただきます。

6月には接遇の基礎研修(必修)、下半期には他県の文化ホール視察研修があり、初めての方でも安心してお仕事をいただける環境づくりを心がけています。

主なお仕事

- ①開場時のチケットもぎり
- ②場内案内
- ③座布団の配布
- ④プログラムの折込、配布やアンケートの回収 など

ボランティアに興味のある方、何か新しいことを始めたい方、地域づくりに関わりたい方など、やる気のある方なら大歓迎です!!皆さんと一緒にコンサートを成功させましょう♪



詳しくは下記までお問い合わせください。

河口湖ステラシアターサポーターズクラブ事務局(河口湖ステラシアター内)

TEL :72- 5588



☆ウィーン少年合唱団 in ステラシアター☆

平成22年5月16日(日)

開場)午後2時15分 開演)午後3時

会場)河口湖ステラシアター

料金)指定席4,500円 自由席(大 人)3,000円

自由席(高校生以下)1,500円

※未就学児の入場はご遠慮願います。

好評発売中!

☆町民特別先行予約のお知らせ☆

公演名: 美里祭り2010

渡辺美里25周年アニバーサリーライブが決定しました。
本州では河口湖公演のみの開催となります。
いつも以上に「熱い夏」を! 忘れられない夏にしましょう!

日 時:平成22年8月28日(土) 開場 午後2時30分 開演 午後4時
平成22年8月29日(日) 開場 午後1時30分 開演 午後3時

会 場:河口湖ステラシアター

料 金:指定席7,000円

※6歳未満は保護者膝上に限り無料。但し、座席が必要な場合はチケット必要。

(ニューエイジ割引あり4,000円・※対象年齢6～18歳指定席チケットご購入後、公演日
開場時・無分証明書提示にて差額¥3,000返金。終演後の返金不可。)

- 受付日時 4月12日(月)《電話予約のみ》午前10時～午後5時
- 受付電話番号 0555- 72- 5588 河口湖ステラシアターチケットセンター ※お一人様4枚まで
- チケット受取方法 《来館の場合》4月14日(水)から4月22日(木)までにステラシアターへお越し下さい。
尚、火曜日は休館日となります。期限までに来館されない場合は、キャンセルとさせていただきます。
《郵送の場合》チケット代金の請求書をお届けします。入金が確認できましたら、チケットを
お送りいたします。尚、書留郵送料520円と振込手数料はお客様のご負担となります。



♪河口湖ステラシアターフレンドリークラブ会員募集♪

河口湖ステラシアターフレンドリークラブでは、平成22年度の新規会員を募集しております。

- 会員特典** ☆河口湖ステラシアター及び河口湖円形ホールのコンサートチケットの優先電話予約
☆コンサート情報をダイレクトメールにてお知らせ
☆チケットの割引(公演によっては適用にならない場合もございます。)
☆観光スポット、飲食店などのご優待

入会金 無料

年会費 【一般会員】1,000円(1公演につき、チケット割引2枚まで)
【ファミリー会員】2,000円(1公演につき、チケット割引5枚まで)

会員有効期間 入会時から平成23年3月31日(年度更新)

お申込み方法 ご希望の会員の年会費をご持参の上、ステラシアター窓口までお越しください。窓口にて
申込み用紙に必要事項を記入し、年会費を添えてご提出ください。その場で会員証を発行します。
更新の方は、ご使用の会員カードをご持参の上、お越しくださいませようお願いいたします。
※郵便振込みも可能です。お手数ですが、ステラシアターまでお問合せください。

問合せ先:河口湖ステラシアター TEL :72- 5588

《受付時間》 午前9時～午後5時 《休館日》 毎週火曜日、祝日の翌日

アプライトピアノお譲りしていただける方、探しています・・・

- ★ ご自宅で使わなくなった「アプライトピアノ(裏側が開かず、平らなピアノ)」をお持ちの方、無料でお譲り
いただけませんか?
- ★ 河口湖ステラシアターで、有効に使わせていただきます。なお、運搬費用などは全て、河口湖ステラシ
アターでご負担いたします。
- ★ ご協力いただける方、ご連絡をお待ちしております。

富士河口湖町教育委員会 文化振興局(ステラシアター内) Tel 72- 5588



♪自然の香りが響きわたる♪ ♪優しい音が湖風に舞う♪
河口湖ステラシアター & 河口湖円形ホール

<http://www.stellartheater.jp/>

このページについてのお問合せは、河口湖ステラシアター 72-5588までどうぞ



富士と湖の 自然をみつめて

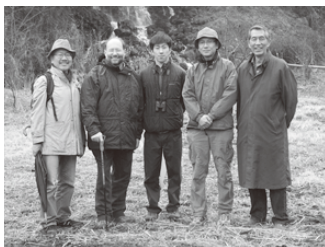
Nature in and around Mount Fuji



アースウォッチ国際プロジェクト「自然に活かされる企業の未来」盛会でした

2月26日に東京の経団連会館で開催されたアースウォッチ・ジャパン主催・アクセンチュア(株)協賛の国際プロジェクトは、90名を超える方々が集まって下さり盛会裏に終了することが出来ました。

最初に、東北大学の石田教授から、暮らしに役立つテクノロジーとして自然から学ぶ省エネ技術等が紹介され、自然は倫理観を持つ知能だとして、2030年に迎えると考えられる環境問題に対処するためにも自然から学ぶことが多いと講演されました。次いで、河口湖フィールドセンターの渡辺通人が、富士山の自然保護のために2003年から実施してきた、草原環境保全のための取り組みと富士山湧水環境保全の取り組みについて報告し、日本の自然共生の仕方が、これからの世界の自然環境保全につながっていくことを訴え、「富士山生物多様性研究イニシアティブ」を提案させて頂きました。その後、アースウォッチ・インターナショナル副代表のナイジェル・ウィンザーさんが、ヨーロッパを中心とした世界企業の、環境NGO アースウォッチを通じた社会貢献の例を報告して下さい(写真)、花王(株)CSR推進部長の嶋田さんが、アースウォッチ国際プロジェクトに教員を派遣している事業「花王教員フェロシップ」とその成果を報告して下さいました。この後4名で行われたパネルディスカッションも、様々な環境問題に関する活発な意見が出され有意義な会となりました。参加者の8割が企業の



CSR を中心とした担当者の方々で、富士山と生物多様性に対する関心の高さを伺わせました。また、10名を超える方々が名刺を持って挨拶に来て下さいましたし、昨年までの「富士山周辺の絶滅危惧チョウ類」のプロジェクトに参加して下さいした約10名のボランティアの方々も参加して下さい大変盛会でした。

翌27日は、ナイジェルさんとアースウォッチ・ジャパン事務局の3名の方々が、富士山麓の梨ヶ原と湧水源地帯の視察に来て下さり、今年のプロジェクトについて共同研究の北垣先生・西さんも含めて意見交換が行われ(写真)、ナイジェルさんも「きっと良いプロジェクトになる。また国際プロジェクトを開催してほしい。」とおっしゃって、翌日イギリスに帰国されました。

河口湖フィールドセンター周辺の自然 〜雪宿りするジョウビタキと踏みそうになったシジュウカラ〜

先月号で、雪の多い時期も捨てたもんじゃないなとお話ししましたが、今回面白い体験をしたので報告します。ある小雪の日、冬鳥のジョウビタキが河口湖フィールドセンターの軒先にいたので、写真を撮ろうと静かに追ってみました。最初は玄関に入っていて、近づいたら、いったん外へ飛び立ったのですが、再び軒先の照明の上に止まり、軒先を東に移動、材料として積んである木の枝に止まり(写真)、さらに北側の軒先に移動しました。雪の日なので雨宿りならぬ雪宿りしているように見え、反対から回り込むと仕方なしに雪の積もった小枝に移動して、カメラを構えているこちらを恨めしそうに見つめて静止した後、林の中に消えました。何かすまない気持ちになりました。



また、ある日は、研究室の鉄製の階段を下りていた時、「ゴン」と音がしました。何だろうと思って下っていくと右足のすぐ近くにシジュウカラがうずくまっています。寸前に気が付き左足で踏みつけずに済んだのですが、近づいても触っても目はうつろ、脚も固まったままでした(写真)。階段の隙間を飛びぬけようとして天板にぶつかって脳震盪(のうしんとう)を起こしたようだったので、静かに木の下の方の平らな所につれて行き様子をみました。10数分後、気になって見に行きましたら、ちょうど仲間が呼びに来たようで、元気に枝から他の1羽の後を追うように飛び去る途中で、「良かった」と胸をなでおろしました。ひょっとして夫婦だったのかとも思いましたが、鳥の仲間の絆を実感した、ほほえましい瞬間でした。

ショート・ニュース

○3月11日河口湖CATV の貴家さんから、玄関にコウモリがいると連絡を頂き写真を撮らせて頂きましたが、河口湖周辺では数例の記録があるだけの「ヒナコウモリ」だったので、温かく見守って下さいとお願いしました。

○3月14日(日)午後1時30分から、生涯学習推進の集いとして「富士山の自然と富士河口湖町〜里山と環境教育〜」と題したフォーラムが中央公民館で開催され、河口湖フィールドセンターの渡辺通人、都留文科大学の北垣先生、環境省の木村自然保護官から各30分程度の報告があり、参加して下さいした方々との質疑応答も含めて、富士河口湖町には、貴重な富士山と御坂山地の自然とそれを生かす人材がいることが示されました。

○3月17日NHK BS-hi の「新日本風土記(富士山)」の中で船津胎内樹型が紹介されました(放送開始16分後から約4分間)。

4月20日NHK BS-hi で、朝10:00から11:29までの時間で再放送されます。